

報道関係者各位

C&W、アジア太平洋地域 データセンターレポートを発表

グローバル不動産総合サービス会社のクッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（グローバル本社：米国イリノイ州シカゴ、日本本社：千代田区永田町、C&W）は、『**APAC データセンター市場アップデート**』レポートを発表致しました。



詳細ダウンロードは[こちら](#)から

アジア太平洋地域*のデータセンター市場では、2024 年上半期に約 1.3GW の新規供給が追加され、稼働容量が 12GW の大台へと近づきました。また、この期間にアブソープション規模も同程度となり、当地域の需要と供給のダイナミクスが均衡しているあることを示しています。開発パイプラインは、同地域全体で 4.2GW が建設中、12.0GW が計画中で、2023 年下半期末から 2.8GW 増加しています。

アジア太平洋地域の 14 市場のうち、上位 6 市場が同地域の稼働容量の 85%を占めています。中国本土 (4.2GW)、日本 (1.4GW)、インド (1.4GW)、オーストラリア

(1.2GW)、シンガポール (0.98GW)、韓国 (0.65GW) は、最大の稼働容量を持っているだけでなく、強力な開発パイプラインと計画容量を持っています。

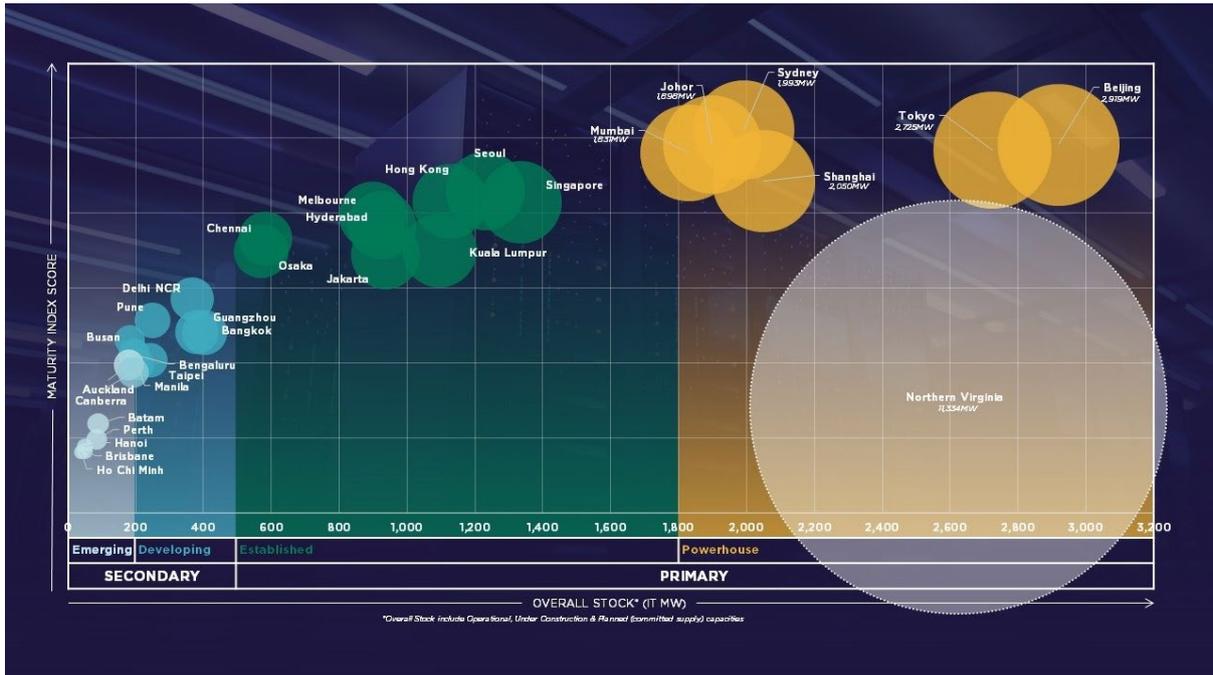
マレーシア (主にジョホール州による) は、2023 年下半期から 2024 年上半期にかけて稼働容量が 80%増加し、インドが 28%増加。両市場とも同様に、開発パイプラインの伸びが最も高いことから、両市場とも今後数年間は継続的な成長が見込まれます。

日本、インド、オーストラリアは、クラウド・サービス・プロバイダーとコロケーション・プレイヤーの両方が投資と容量を増やすと予想される国であり、日本とインドは 4GW 規模 (稼働中、建設中、計画中の容量の総ストック)、オーストラリアは 3.5GW を突破し、中国本土は 6.5GW で全市場をリードしています。韓国は、短期・中期的な電力使用量と開発に関する新しい規制の影響により、一桁台の成長トレンドにあることが明らかです。

アジア太平洋地域全体で容量の増加が観察される中、国や市場特有の政策イニシアティブ、インセンティブ提供、革新的技術の採用によるエネルギー効率の改善、カーボンフットプリント削減のためのイネーブラーなども、市場関係者によって追求・実施されています。

当社の[アジア太平洋データセンター市場成熟度指数](#) (洗練された方法論と追加的なデータ検証作業により補完) は、今後 10 年間におけるアジア太平洋地域の 30 市場の潜在的な進化を予測しています。既存および計画中のキャパシティ、空室レベル、オペレーターのプレゼンスと規模、各アセットレベルの構築能力などの要素をパラメトリックベースで加重評価したものです。

今回の最新レポートでは、**東京**、**シンガポール**、**シドニー**、**香港**、**ムンバイ**、**ソウル**、**ジャカルタ**、**ジョホール** の 8 つの主要市場 (都市) の主要なニュアンスを網羅する一方、**マニラ**、**バンコク**、**オークランド**、**ホーチミン** の 4 つの二次市場 (都市) についても概観しています。



*すべての分析において、アジア太平洋地域にはオーストラリア、中国本土、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、タイ、ベトナムのみを含みます。

APAC データセンター市場アップデートレポートの概要

- 主要市場：東京、シンガポール、シドニー、香港、ムンバイ、ソウル、ジャカルタ、ジョホール
- 新興市場：マニラ、バンコク、オークランド、ホーチミン
- APAC データセンター市場成熟度指数：30 市場を網羅

詳細レポートは [PDF](#) でご覧いただけます。

-以上-

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドについて

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（C&W）はニューヨーク取引証券所に上場している世界有数の事業用不動産サービス会社です。世界約 60 カ国、400 拠点に約 52,000 人の従業員を擁しています。施設管理、売買仲介、鑑定評価、テナントレップ、リーシング、プロジェクト・マネジメントなどのコア・サービス全体で、2023 年の売上高は 95 億ドルを記録しました。受賞歴のある企業文化や、ダイバーシティ、エクイティ&インク



ルージョン（DEI）、サステナビリティに対するコミットメントにより、業界内外から高い評価を頂いております。
詳しくは、公式ホームページ <https://www.cushmanwakefield.com/ja-jp/japan> にアクセスするか公式 X [@CushWake](#) をフォロー下さい。

メディア・コンタクト:

大谷 彩子

マーケティング&コミュニケーションズ

+81 3 6634 0017

<mailto:saiko.otani@cushwake.com>